

2023 年度名古屋学芸大学健康・栄養研究所 研究・実践報告

■研究・実践の課題（テーマ）

実務者のための NCP 研修会

■主任研究者 塚原 丘美

■共同研究者 立花詠子、畠山桂吾

■研究・実践の目的、方法、結果、考察や提案等の概要

【目的】

管理栄養士として対象者への栄養ケアにどのようなアプローチが必要なのかを考えるために、短期集中的にグループディスカッション等を行いながら、広い視野をもって患者さんの栄養管理計画を作り、どのようなアウトカムを期待して PDCA を回していくのかを深く検討できるようになることを目的とした研修会を行った。今年度もベーシックトレーニングと分野別ワークショップの2部形式で開催した。

【方法】

対 象： 医療・福祉分野で栄養管理を行っている実務者（管理栄養士）

日 時： 2024 年 2 月 3 日（土）10：00 ～ 16：00

場 所： 名古屋外国語大学名駅キャンパス（サテライト）および オンライン（Zoom）

1部 10：00～12：00 ベーシックトレーニング

「すぐに役立つ“楽しい”静脈栄養ワークショップ～管理栄養士として知っておくべきこと～」

浅ノ川総合病院 薬剤部 東 敬一朗 先生

司会進行：畠山桂吾

2部 14：00～16：00 分野別ワークショップ

①急性期（#ICU #術後 #輸液 #がん #NST） 対面およびオンライン（Zoom）

「糖尿病を合併した膵がん患者の栄養管理～栄養ケアプロセスを用いて～」

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 伴野 広幸 先生

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 林 衛 先生

司会進行：畠山桂吾

②慢性期（#栄養指導（DM・CKD 等）#リハビリテーション栄養 #給食管理）対面およびオンライン（Zoom）

「患者さんのための栄養指導 ～指導者主導の指導にならないために～」

愛知医科大学病院 原 なおり 先生
名駅東クリニック 橋本由香梨 先生
司会進行：立花詠子

③高齢者(#施設 #フレイル #嚥下障害 #認知症 #サルコペニア #重度要介護) 対面
「高齢者における栄養ケアの倫理～あなたは食の虐待をしていないか～」
社会福祉法人英楽会 楓林花の里 小島 三枝 先生
司会進行：塚原丘美

【結果・まとめ】

今回は2部制に分けて行った。午前中のベーシックトレーニングには対面20名（うちスタッフ3名）、オンライン10名が参加した。午後は急性期分野16名（うちオンライン5名）、慢性期分野7名（うちオンライン2名）、高齢者分野7名が参加した。

今年度の午前中は、管理栄養士の業務として必要な知識となっている静脈栄養について、基本的な考え方をグループワークを通じて楽しく話していただいた。また、午後は参加者が興味のある分野、現在の業務に関係のある分野を選んで学べるようにした。よって、終了後のアンケートでは、午前、午後のどちらも、受講前と比べて参加当初の目的達成度、理解度が受講後は上がっていた。よって、全体を通して非常に有意義な研修であったと考える。